

荒町市民センターだより

2014

うづき

卯月

4月の休館日：7日(月)・14日(月)
21日(月)・28日(月)
30日(水)



〒984-0073 仙台市若林区荒町 86-2
電話：266-3790 FAX：266-5436
E-mail:aramachi@stks.city.sendai.jp

今月より新(事業)年度がスタートしました。
本年度も地域における『顔の見える関係づくり』
を加速していきたいと考えております。ご協力・
ご支援をよろしくお願い申し上げます。

館長 工藤順一郎

平成26年度 開催予定講座(抜粋)

開催月	講座名	回数
4~3	あらまち町民大学シルバーセンター	11
4~3	荒町大好き企画会 2014	7
4~1	ガチンコ企画会2	7
4~1	あらまち子ども囲碁クラブ	24
5~3	あらまち子ども企画室	16
6	荒町ほっとハートコンサート	1
6~12	地域懇談会	3
6~2	荒町防災力向上講座	7
7~3	荒町四季物語	10
7~3	ふるさと体験隊	7
9	荒町いきいき講座(手話付)	3
10	荒町市民センター・児童館フェスティバル	2
10~12	荒町シニア健康講座	6
2	仙台市子ども会インリーダー研修会	1

※開催時期、講座名は変更になる場合があります。
詳細はセンターだより・チラシなどで随時お知らせ
いたしますので、ご確認願います。

◆市民センターからのお知らせ◆

4月より…

- ◎受動喫煙対策のため市民センター敷地内を「全面禁煙」といたします。
- ◎駐車場運用を変更いたします。駐車台数は7台です。変更内容につきましては、窓口にお問合せください。

ご協力をお願いいたします。



「孫兵衛堀説明板」 除幕式が行われました



【除幕式の様子】

3月18日荒町小学校6年生、
地域町内会長さん達約100名
の方が見守る中、孫兵衛堀説明
板の除幕式が荒町小学校校庭で
行われました。子ども達に荒町
の歴史を伝えたい一心で、荒町
大好き企画会有志の方々が設置したものです。
皆さん是非見てください。

地域情報

受講生募集

ガチンコ企画会 part 2

地域で一人暮らしをされているあなた!
荒町の魅力を再発見できるような素敵な
講座を一緒に考えてみませんか?皆さんと
一緒に講座を企画、運営、実行します!



日時：平成26年6月13日(金) 19:00~21:00
※以降の日程は皆さんと相談して決めます
場所：荒町市民センター2階 第一会議室
対象：地域で一人暮らしをされている方 10名
※応募多数の場合は抽選とさせていただきます。
受付：4/1(火)より5/13(火)まで お電話・窓口にて

4月の主催講座・予定

2	水	6月分抽選確定 (~9日(水)まで)
9	水	図書ボランティア「みちくさ」定例会
10	木	6月分空き室使用申込開始
12	土	あらまち子ども囲碁クラブ ワンマイル荒町定例会(ジュニアリーダー)
16	水	あらまち町民大学シルバーセミナー開講式 7月分抽選使用申込開始 (~4/29(火)まで)
26	土	あらまち子ども囲碁クラブ
29	火	「昭和の日」 ホール個人使用日(9:00~16:30)



※ご来館の際は、公共交通機関の利用にご協力ください

荒町第二豊齡社交クラブ・荒町大好き企画会
庄司 博

～齋藤 七五郎 と 元気広場～

荒町97番地に“齋藤七五郎記念 元気広場”と云う一角があります。この土地は後記のような齋藤七五郎公の遺言に基づき、ご家族のご協力、友人の努力に依り仙台市に寄付された貴重な広場です。

余の今日あるは 即ち 母校の賜なり 乃って 生家、邸宅の一切を仙台市に寄付し 聊か子弟の教育、社会
薫化の 一端に資せんと欲す 幸いにして 之の利用を得れば 即ち 余の望 足れり

齋藤家は代々麴屋を営み、間口六間 奥行二十五間の屋敷でした。江戸時代末期齋藤七兵衛、シナ夫婦の間では六人目の子供まで早逝し七人目の七五郎からは元気に育ちました。しかし生家は時代の変遷にともない、商売を縮小せざるを得ませんでした。そんな中 七五郎は刻苦勉励して海軍兵学校に入り、卒業後は青年士官として日清、日露の戦いに従軍して武勲を立て、海軍中将、軍令部次長まで出世しました。また練習艦隊司令長官として若い士官の訓練をやり乍ら東南諸国から南国の島々を訪問し、遠くニュージーランドまでの訓練航海をしました。その途中、母校の荒町小学校に沢山の珍しい物を贈ってくれました。その殆どは今もなお、センター記念室に保管されています。

しかし大正15年7月23日、病気のため57歳で亡くなりました。逝去後、ご本人の遺言により、生家、邸宅の一切を仙台市に寄付されることになりました。仙台市では記念室を建てて遺品の展示室を設け、報恩の真を示すとともに子弟の教育の場に供することになりました。

その記念館は太平洋戦争中は市役所荒町出張所として、戦後は福祉記念館として住民に親しまれ、昭和58年(1973)にはその名も市民センターと改め、益々その重要さを増していきました。しかし次第に老朽化が進み、平成22年(2010)現在地86番地に移転改築されることとなり、現在の姿になりました。

広場の一角に立ち、先達の遺志に思いを馳せ、その慧眼に接するとき、“報徳の園”を子供達と、“薫化の園”を地域の人達と守り続けられるわが身の幸せに心癒される今日此の頃です。

～無言の石碑 と 土樋の現場～

荒町小学校グラウンド南東に、二体の石碑が安置されています。碑の側面には孫兵衛堀跡と大正13年と彫ってあるだけです。誰が、何の目的で残したものが全く不明です。それだけに、彫られた五文字が後輩の我々に語りかける含蓄は想像以上のものが有ると思われれます。此の示唆に乗り、荒町大好き企画会の人達が、埋もれかけた郷土の宝にもう一度光を当てようと活動して参りました。その結果、歴史書だけに残る幻の堀と思われていた堀そのものが見つかりました。土樋68番地 引地 和敏さんの屋敷前に民地と市有地の境界杭も鮮やかに、暗渠となつてはおりましたが立派に保存されてました。郷土の文化財としては超一級のものでしょう。

企画会ではこの史実を顕彰する為、小学校敷地内の孫兵衛堀の在ったその上に説明板碑を建て、経緯を永く後世に伝えて行くこととしました。町内会の区割りが孫兵衛堀を基に作られていることがよくわかります。

川村孫兵衛重吉、元吉親子の遺業が未だに私達の町内会に生きているのです。
藩政時代の偉業に改めて敬意を表するとともに心から誇りに思う者です



よひらの会

食べ尽くし空を恨みて雪籠り 厳寒の列島白き中にあり	寺尾 幸子
高層のベランダに立つ雪達磨 針に糸通しあぐねて根深汁	佐藤 怜子
雪道の危うき着地二度三度 寒風裡 <small>ねぐら</small> に急ぐ群れ鴉	あびこくに
大雪や向かいも隣家も昼灯し 園児らの豆撒きリボンの鬼もいて	吉田 絢子

川柳どんぐりクラブ

羽生さん国民榮譽いいじゃない	千葉 富次郎
明け空にひよろトソビの天気下るか	須藤 千鶴子
風かおるランドセル歩くの児童が歩くの	佐々木 才子
水を得た魚のような我が <small>くめび</small> 命	澁谷 ますえ
一人ごと聞こえましたかと振り返り	田辺 孝一
句がうかびメモする忘れ句も忘れ	藤田 泰子

